

寒河江川さぼう

国土交通省 東北地方整備局
新庄河川事務所
寒河江川砂防出張所
安全安心な地域づくり
第48号 平成25年 2月

- 「大規模土砂災害」を想定した危機管理演習 —西川町—
- 新庄河川事務所10大ニュース
- 砂防施設現場見学会 —寒河江工業高校—
- 安全パトロール —志津・見附地区—

—特集—

危機管理演習 [西川町]



「大規模土砂災害」を想定した危機管理演習

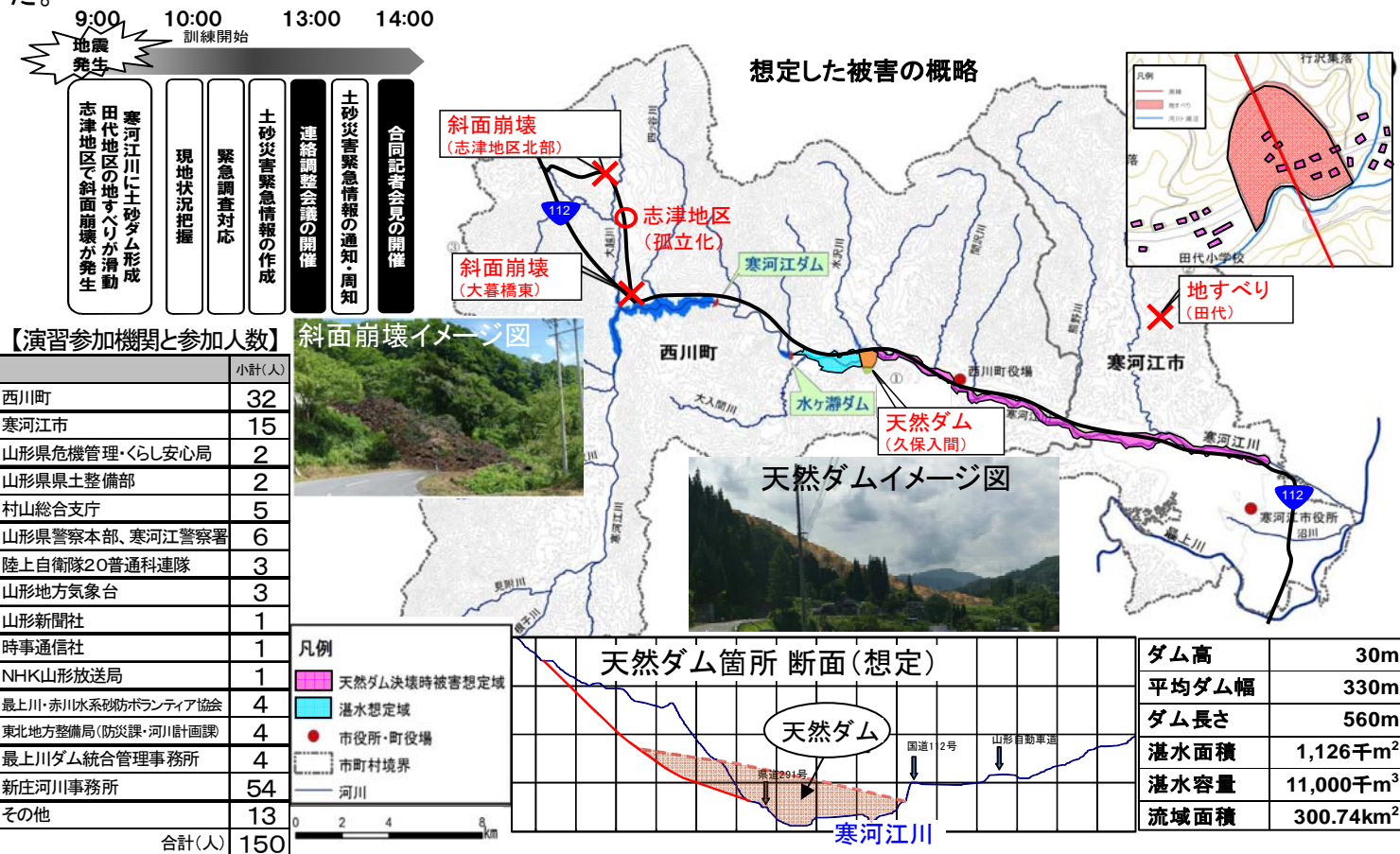
— 西川町 —

昨年11月6日西川町民体育館において、11機関150名が参加して、西川町の直下を震源とする震度6強の地震が発生し、それに伴い土砂ダムの形成や地すべりが発生したとの想定に基づく危機管理演習を実施しました。演習は、参加者には事前にシナリオを知らせず、逐次情報を付与して参加者自ら行動を想定して問題解決能力を習得するロールプレイング（情報付与）方式により実施し、関係機関との連携強化、情報の共有・伝達、災害対応技術力の向上を目的として、会場内に各機関毎のブースを設定、会場内で電話、ファックス、メール機能等を構築し、より実践的な環境で行いました。

演習では、ヘリコプターによる計測結果を用いた天然ダム高及び湛水範囲の算出、又天然ダムの決壊時期及び氾濫区域の解析を行い、住民への避難指示、孤立した地区の救助に関する検討などを行いました。

小川西川町長からは「昭和44年以降、40年間災害がなく、災害対策本部立ち上げに不安があったが、町としての危機管理がどうあるべきかを改めて実感した。」との感想がありました。

なお、演習は一般に公開し、県内の市町村等から25名が参加し、見学及び関連した講習を受けました。



新庄河川事務所

2012(平成24)年10大ニュース

所内アンケート調査に基づく

1位 肘折河道閉塞対策で高度技術支援

～地すべり解析・浸水対策土のう堤防計画、現地監視のため人員と器材も集結、渡河施設設置 奥田副大臣視察(5.27) 県道復旧工事の起工式・見学会(8.11)～



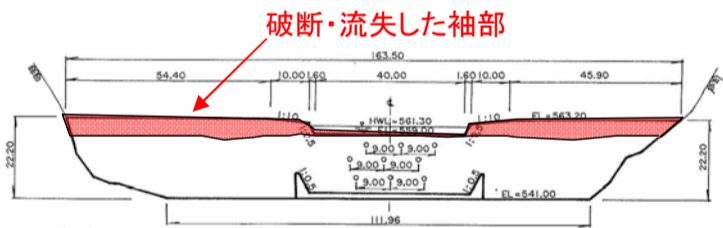
2位 融雪期銅山・立谷沢川等で地滑り多発

～銅山川河道閉塞で温泉街が浸水の危機に～



3位 立谷沢川濁沢深層崩壊対応業績表彰等

～緊急対応東北地方整備局業績表彰優良工事、災害対策功労賞～



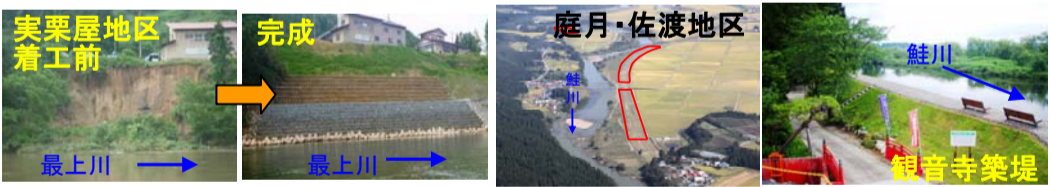
4位 西川町大規模災害危機管理演習

～11月6日にテレビ局、山形県警が新たに参加し、11機関150名で実施～



5位 庭月築堤(鮭川)・実栗屋災害復旧(舟形)の完成

～平成23年7月1日の出水で被災した実栗屋地区の護岸等が完成～



6位 岩ヶ袋・海谷地区(大石田町)消流雪施設通水式

～東日本大震災の影響で完成が遅れていた施設が完成～



8位 積雪期間の防災訓練初めて実施

～3月9日に東日本大震災の教訓を生かし、冬期間の地震を想定した実地訓練を実施。スノーモービルで点検も～



7位 記録的な豪雪雪害多発、鍋嶽沢工事の打切

～大蔵413cm(観測史上2位)、大石田267cm(過去最高)、鍋嶽沢工事打切り～



8位 出前講座、砂防・治水教室を積極的に展開

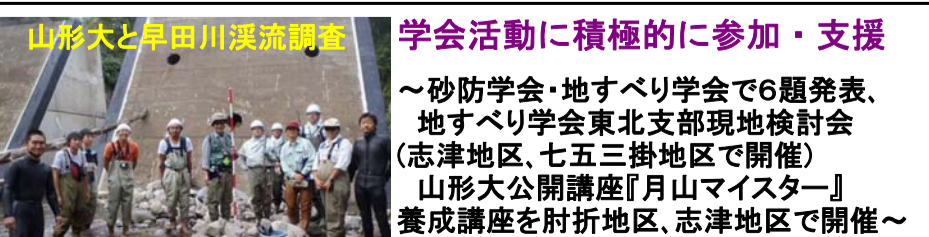
～出前講座(角川小学校等)、インターンシップ(神室産業高校等)、水生生物による水質調査(真室川小等)の実施、「最上川200kmを歩く」への参画～



10位 砂防担当副所長の新設

～技術副所長が河川・砂防の2人体制へ～

次点



砂防・地すべり現場見学会開催!!

10月19日(金)、寒河江工業高等学校土木科2年生の39名が大蔵村銅山川流域における砂防及び地すべり事業の見学をしました。

授業で日頃から土木関係の知識を学んでいるということもあり、生徒の皆さんは時折、砂防工事に関する質問をしたり、説明者のメモを取りながら真剣に聞き入っていました。



▲ 飛び交う質問



▲ 豊牧資料館内での地すべりについて学習

- 【見学場所】
- 肘折の地すべり現場
(渡河施設・仮排水路)
 - 豊牧排水トンネル
 - 豊牧地すべり資料館
 - 横道沢第五砂防堰堤改築工事



▲ 参加者

◆現場見学に参加しての感想◆

○今回の現場見学を通して、私は何気ない生活で使われている土木構造物のありがたみを感じることができ、地すべりの対策のお話をたくさん聞いて、土木構造物に守られて生活をしていることに改めて気付きました。

○肘折の地すべり直後に現地対策班を派遣したり、無人施工用バックホウ等の災害対策機器や車両及び資材を配備したりと、直後にこのように素早く対応することは凄いことだと思いました。

工事現場の安全点検を実施!!

西川町
志津・見附地区

工事現場はいつも事故と隣り合わせです。ちょっとした気の緩みや安全配慮を怠っただけで、重大な事故に繋がる可能性もあります。

このような工事事故を防ぎ、現場内外の安全意識を高めるべく、発注者と受注者が合同で毎年「安全パトロール」を実施しています。

昨年10月5日(金)、寒河江川砂防出張所管内において、安全パトロールが実施されました。工事現場で入念にチェックされた指摘事項は検討会にて話し合われ、その結果を基に早急な改善がなされました。

今後もより一層安全な工事施工に努めて参ります。

【安全点検において評価された事項】

・法面崩壊箇所の養生に透明のシートを使用しており、法面の状態が確認できる。



現場を安全点検



検討会の様子



皆さんの声をお待ちしています

本誌をご覧いただいた感想や砂防事業、国土交通省の事業へのご意見、ご質問等をお寄せください。
担当：事務係

〒990-0702 西川町大字海味字下モ山916-2
寒河江川砂防出張所

TEL 0237-74-2366 FAX 0237-74-2801

新庄河川事務所のホームページもご覧下さい。

HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/>